

# 「平取町の移住・定住」 アンケート結果報告書

令和4年7月  
平取町まちづくり課

# アンケート概要

## 1、目的

町外から平取町に通勤している方を対象にアンケートを実施し、その需要を把握することで、移住・定住策の推進を図ること。

## 2、対象者

町外から平取町に通勤している方。

調査対象者数 ※	418人	
回答者数	郵送による回答	59人
	Webによる回答	33人
	合計	92人
回答率	22.0%	

※平成27年国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・就業状態等集計(総務省統計局)

## 3、実施方法

### ①配布方法

町内107事業所に対し、町外から通勤している 従業員等への配布を依頼。

### ②回答方法

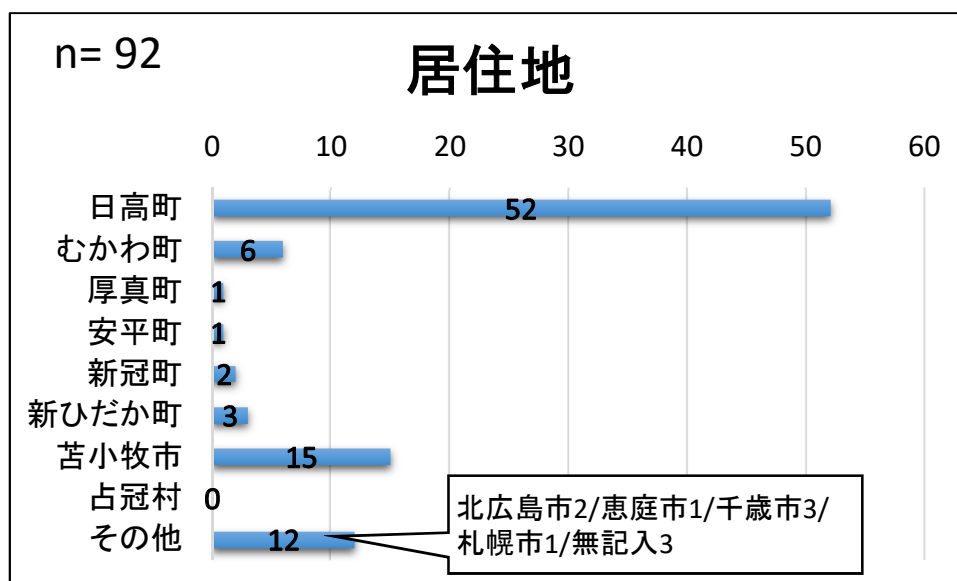
アンケートは無記名式とし、webまたは郵送による回答とした。

### ③実施期間

令和4年4月8日(金)～令和4年5月27日(金)※郵送回答の場合5月31日必着

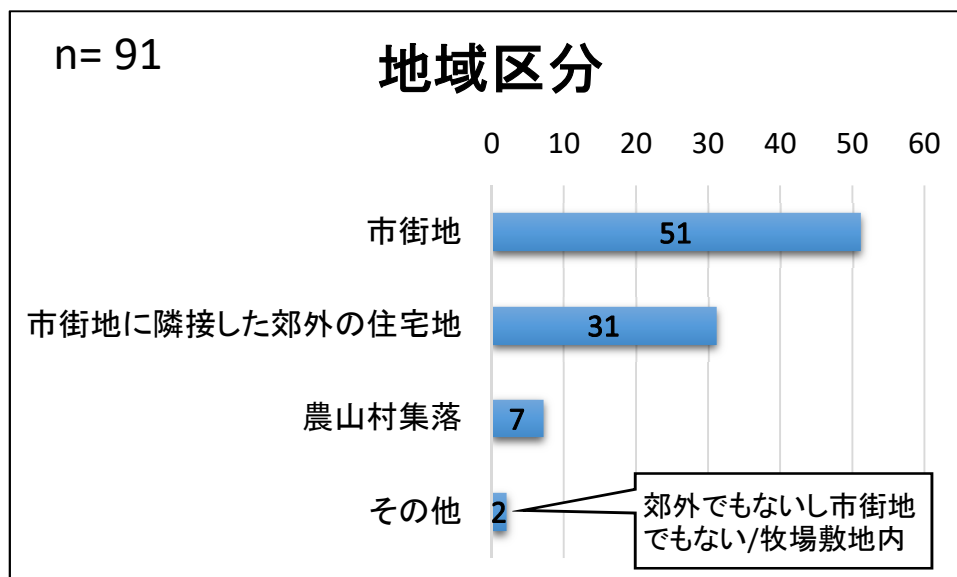
# 集計結果(単純集計)

【問1】あなたの居住地を次の中から選んでください。



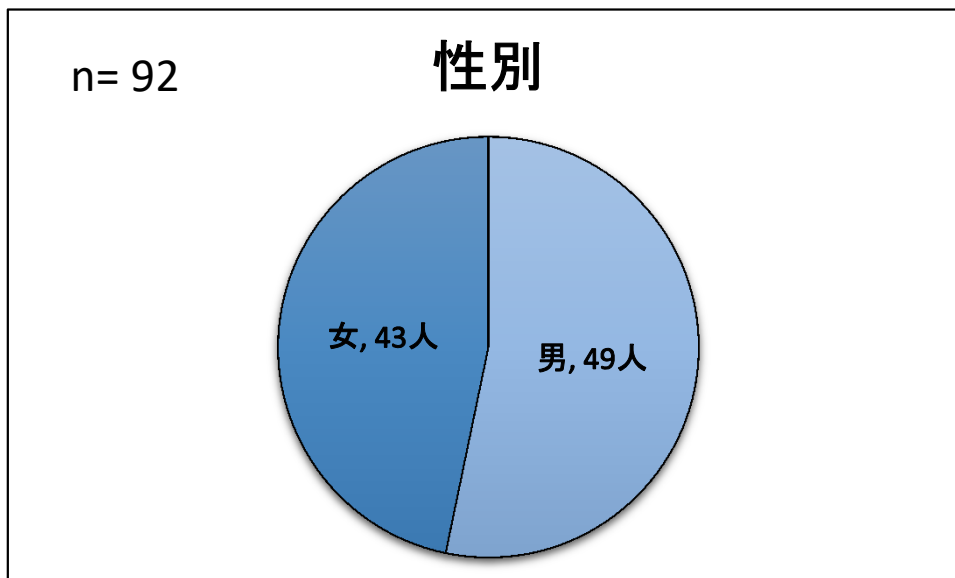
「日高町」が最も多く、次いで「苫小牧市」となっています。  
高規格道路を利用することで、苫小牧市からの通勤も可能となっていると考えられます。

【問2】あなたのお住いの地域は、次のどれに該当しますか。

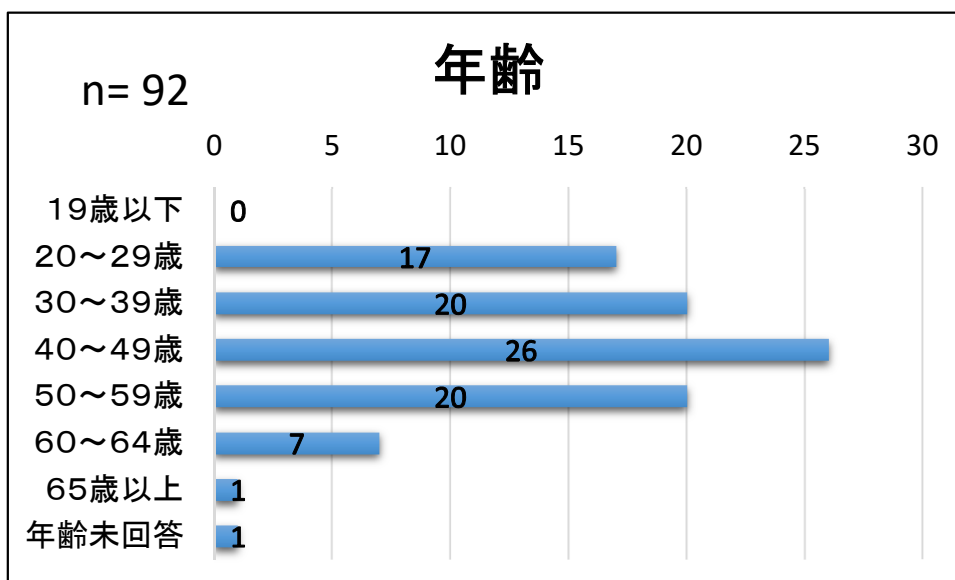


「市街地」が最も多く、次いで「市街地に隣接した郊外の住宅地」となっています。  
回答者の多くは、生活の便のいい地域に住んでいることがわかります。

【問3】あなたの性別を選んでください。

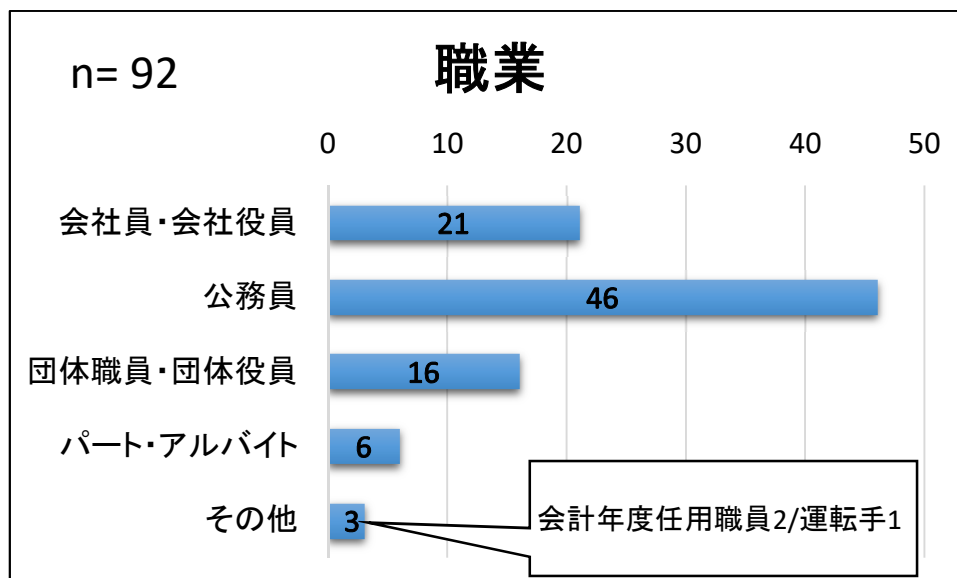


【問4】あなたの年齢を次の中から選んでください。



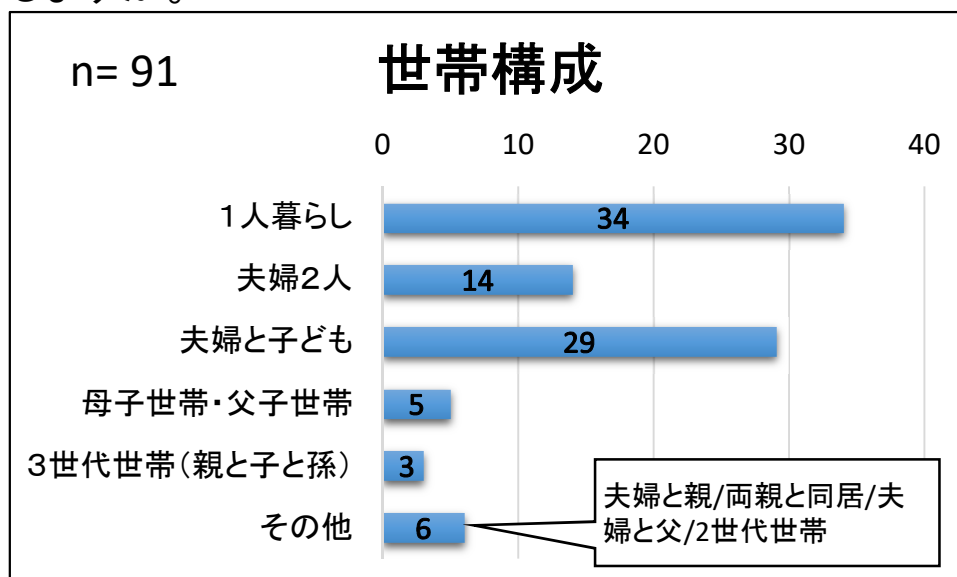
「40～49歳」が最も多く、次いで「30～39歳」「50～59歳」が同数となっています。  
町外からの通勤者は、いわゆる「働き盛り」の年齢が多い傾向と言えます。

【問5】あなたの主な職業を次の中から選んでください。



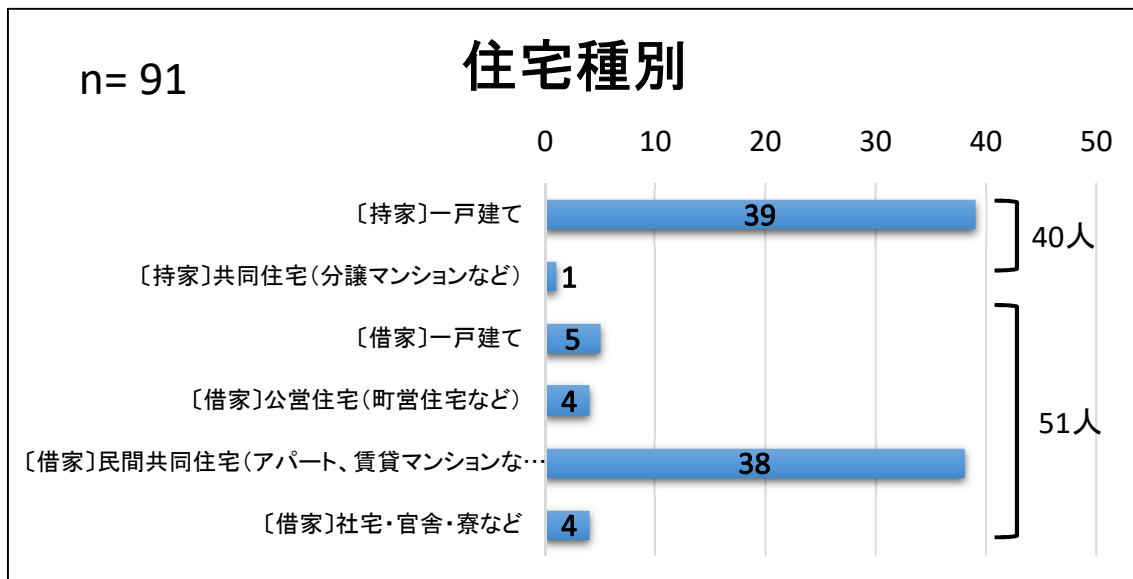
「公務員」が最も多く、回答者の属性に偏りがあることがわかります。

【問6】あなたの世帯（同居しているご家族など）は、次のどれに該当しますか。



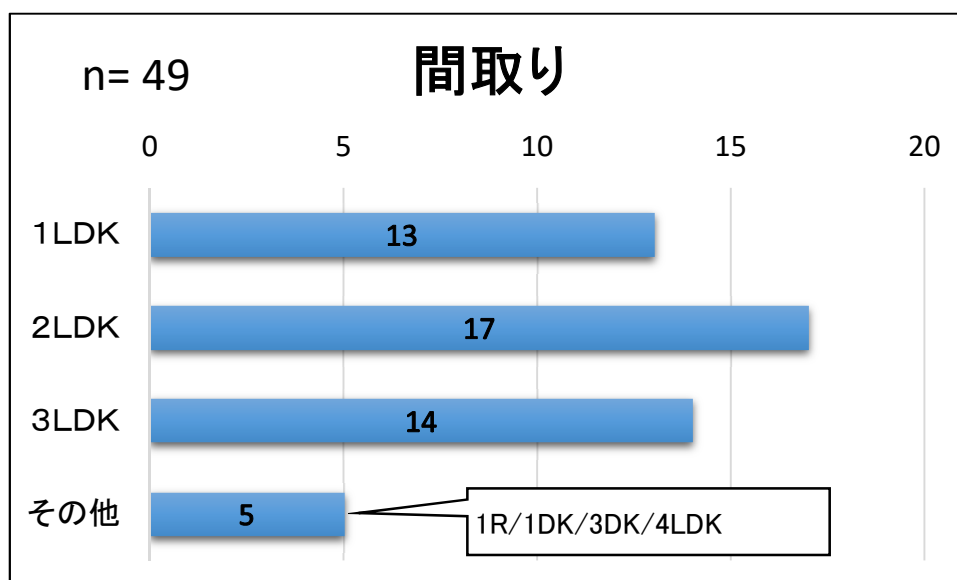
「1人暮らし」が最も多く、次いで「夫婦と子ども」が多くなっています。

【問7】あなたが現在お住いの住宅は、次のどれに該当しますか。



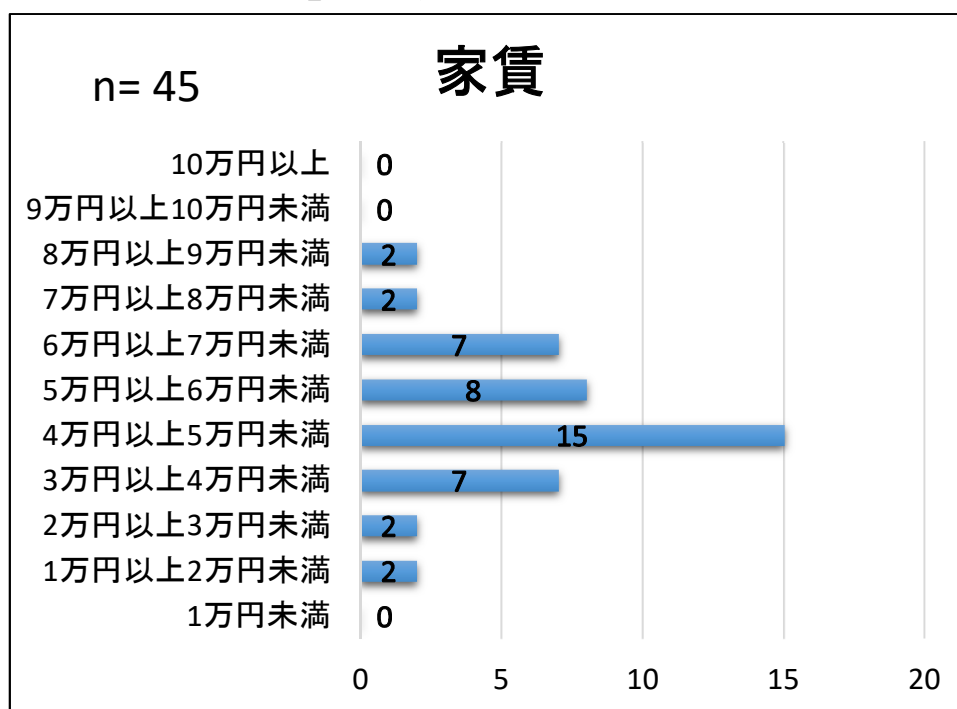
「持家：一戸建て」と「貸家：民間共同住宅」がほぼ同数となっています。  
 なお、「持家」の合計は40人、「借家」の合計は51人で、「借家」の方が若干多い結果となっています。

【問8-1】現在お住いの住宅の間取りを次の中から選んでください。  
 (問7で「借家」を選択した方のみ)



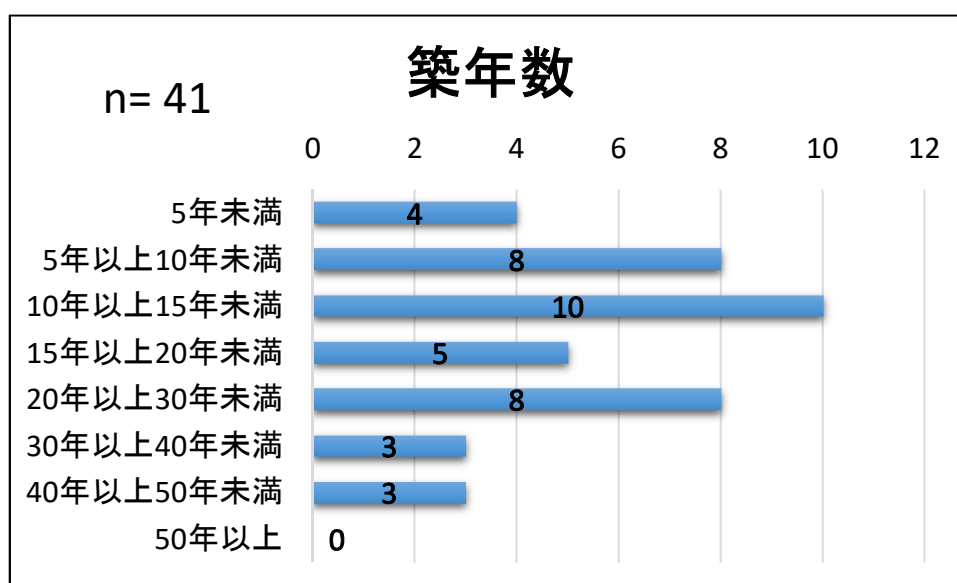
「2LDK」が最も多く、次いでほぼ同数で「3LDK」「1LDK」となっています。

【問8－2】現在お住いの住宅の家賃の月額(住宅手当等を除く実際の負担額)について教えてください。  
(問7で「借家」を選択した方のみ)



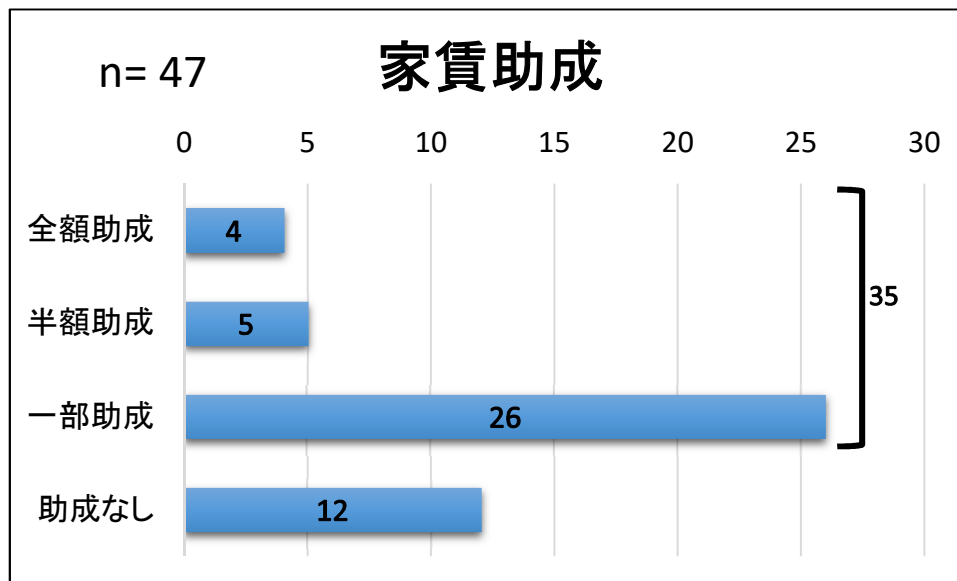
「4万円以上5万円未満」の回答が最も多くなっています。

【問8－3】現在お住いの住宅の築年数について教えてください。  
(問7で「借家」を選択した方のみ)



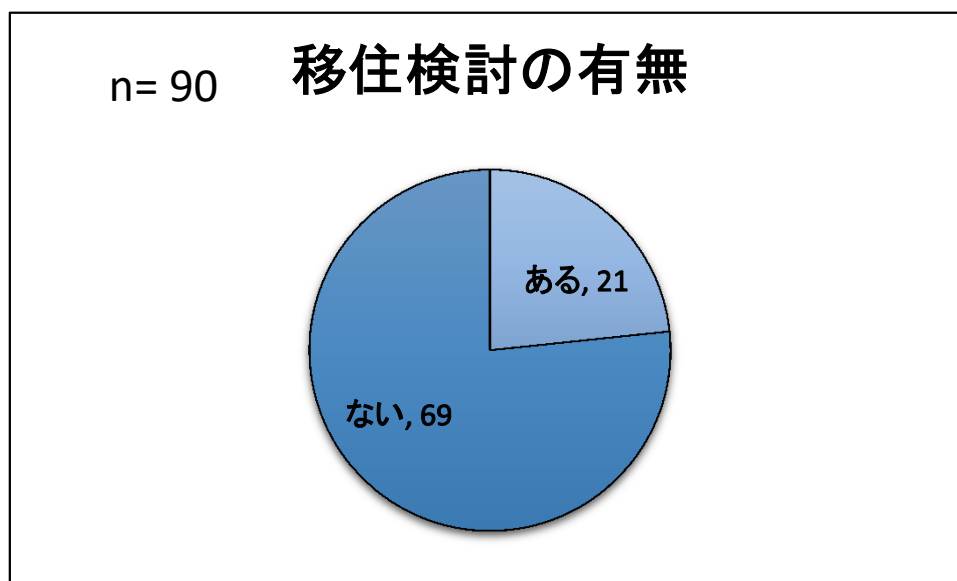
「10年以上15年未満」の回答が最も多く、次いで「5年以上10年未満」「20年以上30年未満」が同数となっています。

【問8-4】勤務先から住宅手当(家賃助成)の助成はありますか。  
 (問7で「借家」を選択した方のみ)



「一部助成」の回答が最も多く、次いで「助成なし」が多くなっています。  
 助成の有無で比較すると、家賃助成のある方が多いことがわかります。

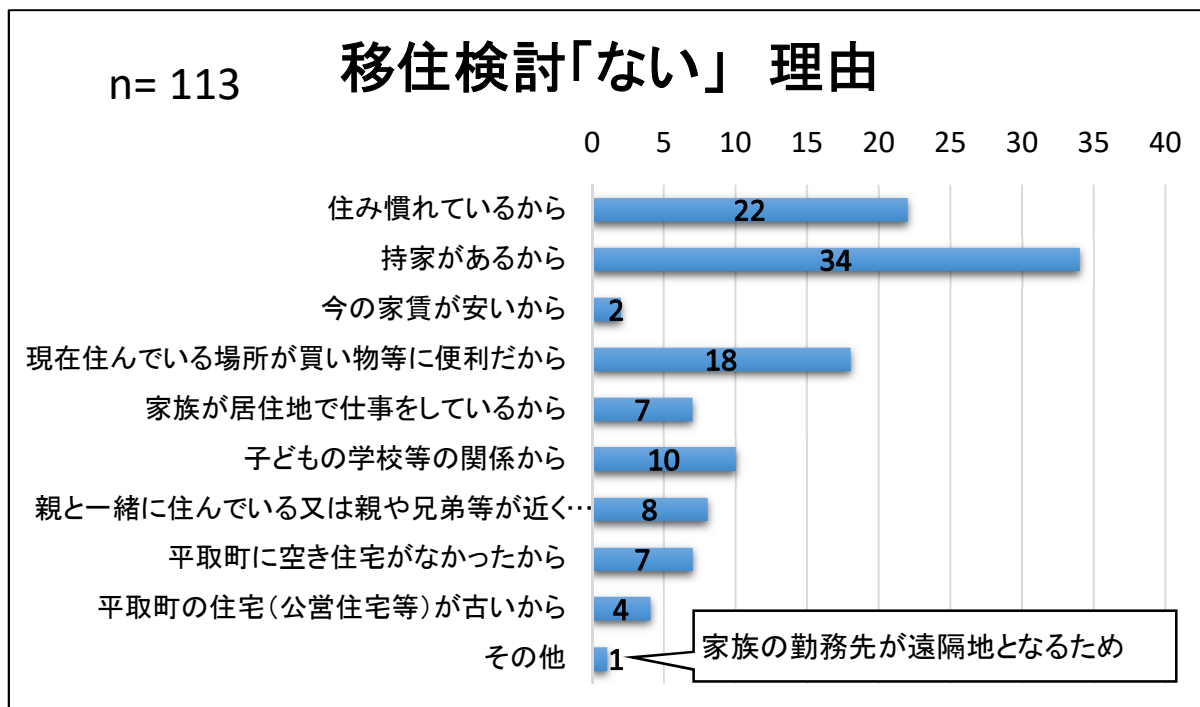
【問9】平取町への引っ越し又は移住を考えたことはありますか。



「ない」の回答が圧倒的に多くなっています。

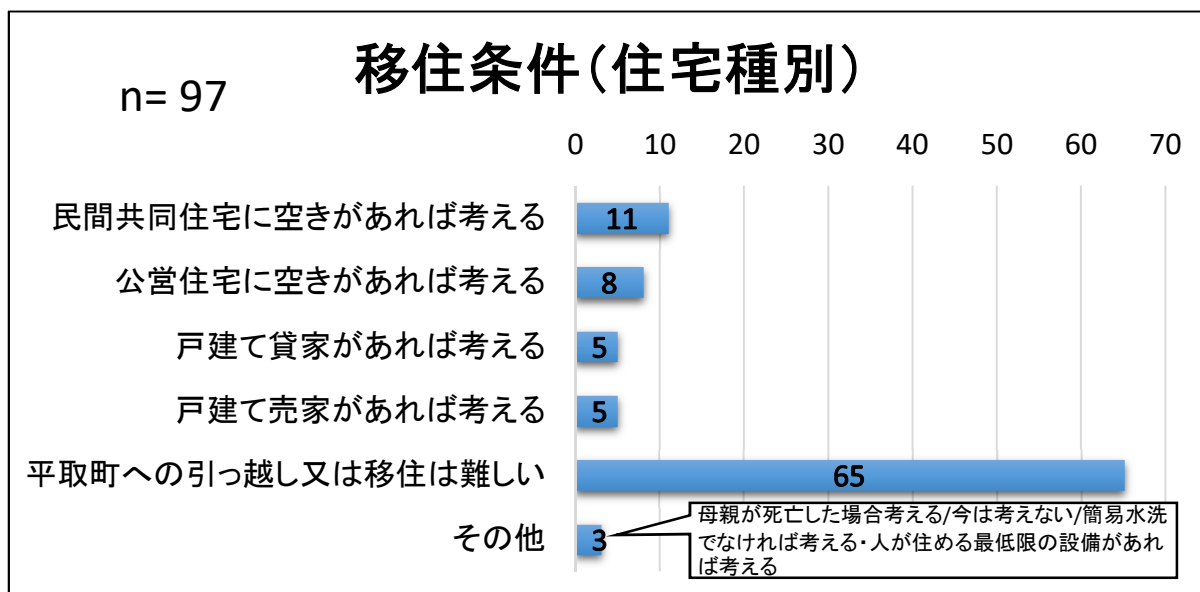


【問10】問9で「ない」と答えた方は理由を次の中から選んでください。(複数回答可)



「持家があるから」が最も多く、次いで「住み慣れているから」「現在住んでいる場所が買い物等に便利だから」となっています。  
通勤の負担よりも、生活環境の維持を重視する傾向を読み取ることができます。

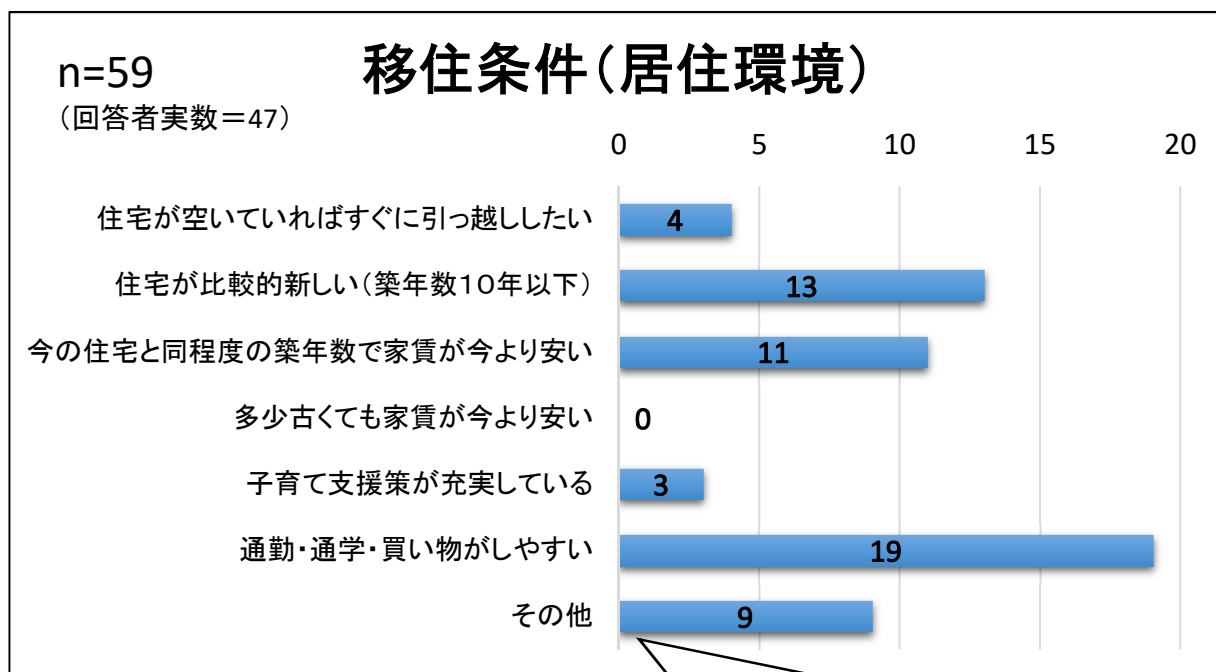
【問11】平取町に空き住宅がある場合、当町への引っ越し又は移住を決断しますか。次の中から選んでください。(複数回答可)



「平取町への引っ越し又は移住は難しい」が圧倒的に多くなっています。  
また、「移住を考える」回答では「民間共同住宅に空きがあれば考える」が一番多くなっており、移住を考える要件としては民間共同住宅が最も需要が高いと考えられます。

【問12】どのような居住環境であれば、当町への引っ越し又は移住を決断しますか。(複数回答可)

※問11で「平取町への引っ越し又は移住は難しい」と答え  
た方は回答不要。



一生、持家に住む/夫婦で平取町に仕事があること/母親が死亡した時考える/職の充実/現状の家賃のままで同じレベルの住宅がいい/地域に引っ越してくる際に空き家がある状態でないと引っ越さない/人が快適に住める最低限の施設・設備/虫やカビに悩まされない・キッチンと風呂が広い

「通勤・通学・買い物がしやすい」が最も多く、次いで「住宅が比較的新しい(築年数10年以下)」「今の住宅と同程度の築年数で家賃が今より安い」が多くなっています。

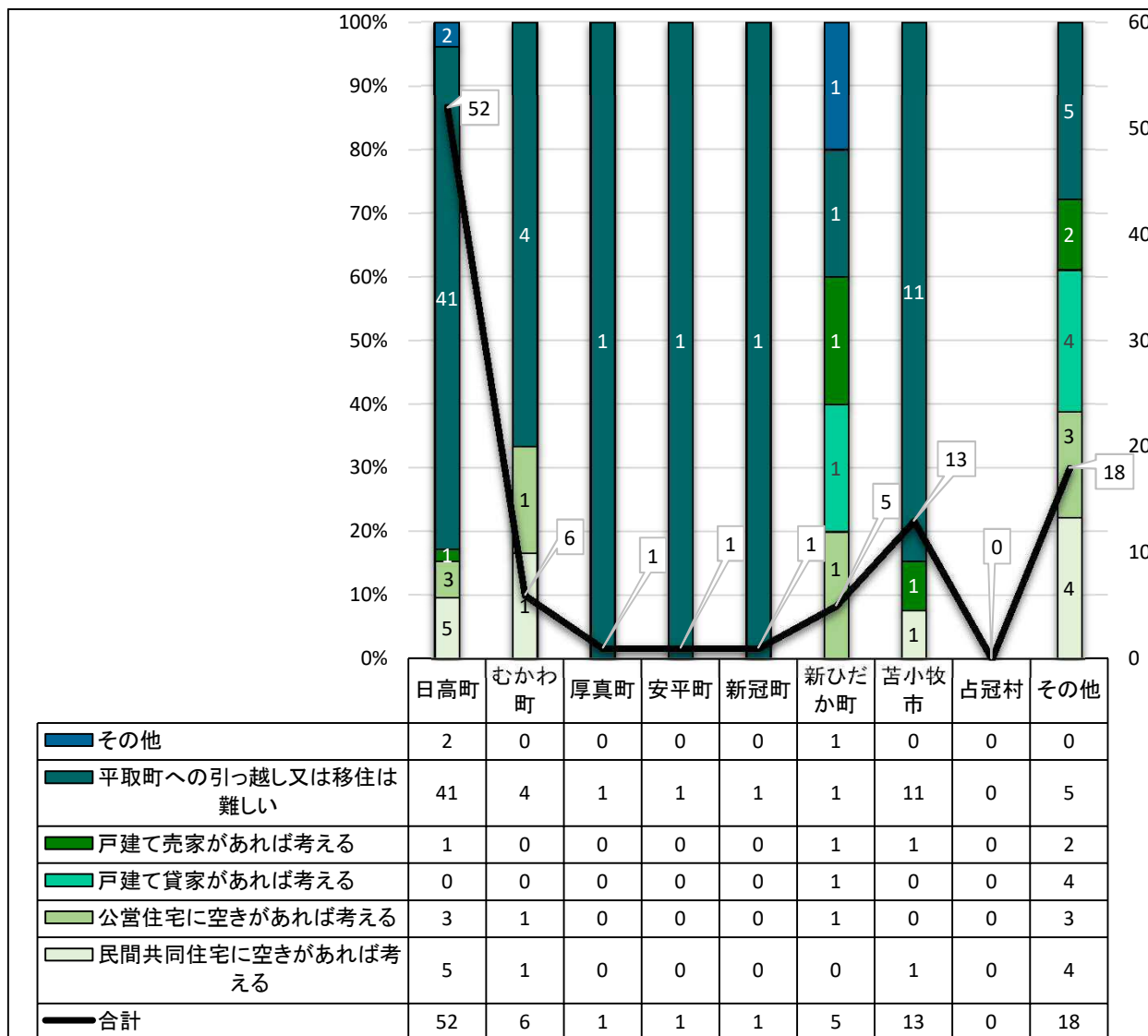
生活の便の良さを重視すること、築年数・家賃などの住環境を重視する傾向があることがわかります。

なお、少数ではありますが「住宅があいていればすぐに引っ越ししたい」との回答もあります。

# 集計結果(クロス集計)

## 【集計ベース】

問1 居住地 × 問11 移住条件(住宅種別)



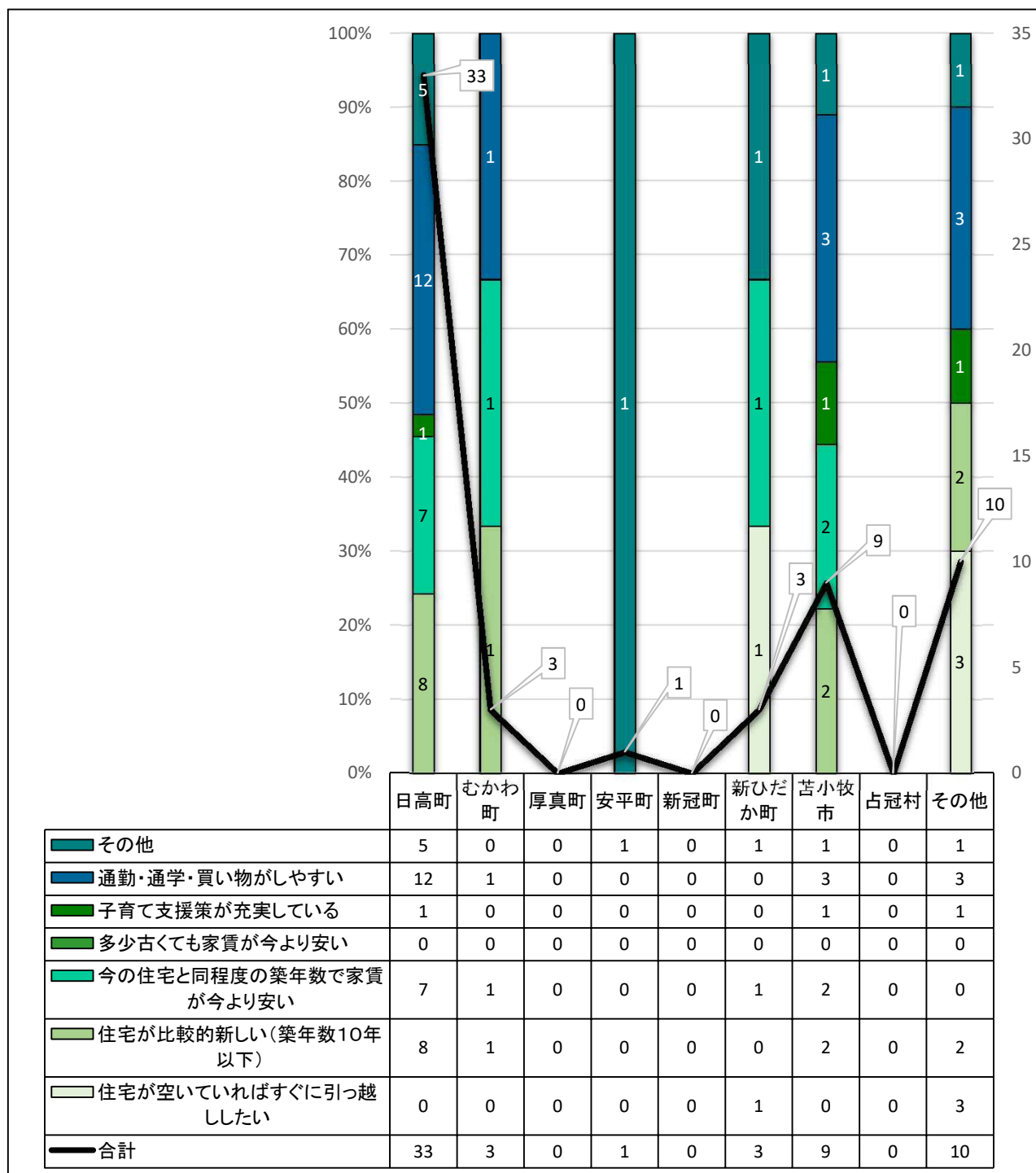
居住地ごとの移住条件(住宅種別)は、居住地が「その他」の方の回答で最も「移住を考える」割合が高くなっています。

居住地「その他」と答えた方の居住地内訳は「北広島市2/恵庭市1/千歳市3/札幌市1/無記入3」となっており、通勤時間が1時間以上かかる地域が多いことから、通勤負担が重いことが要因として考えられます。

また、日高町の場合、移住を考える要因として「民間共同住宅に空きがあれば考える」「公営住宅に空きがあれば考える」が比較的多くなっています。

## 【集計ベース】

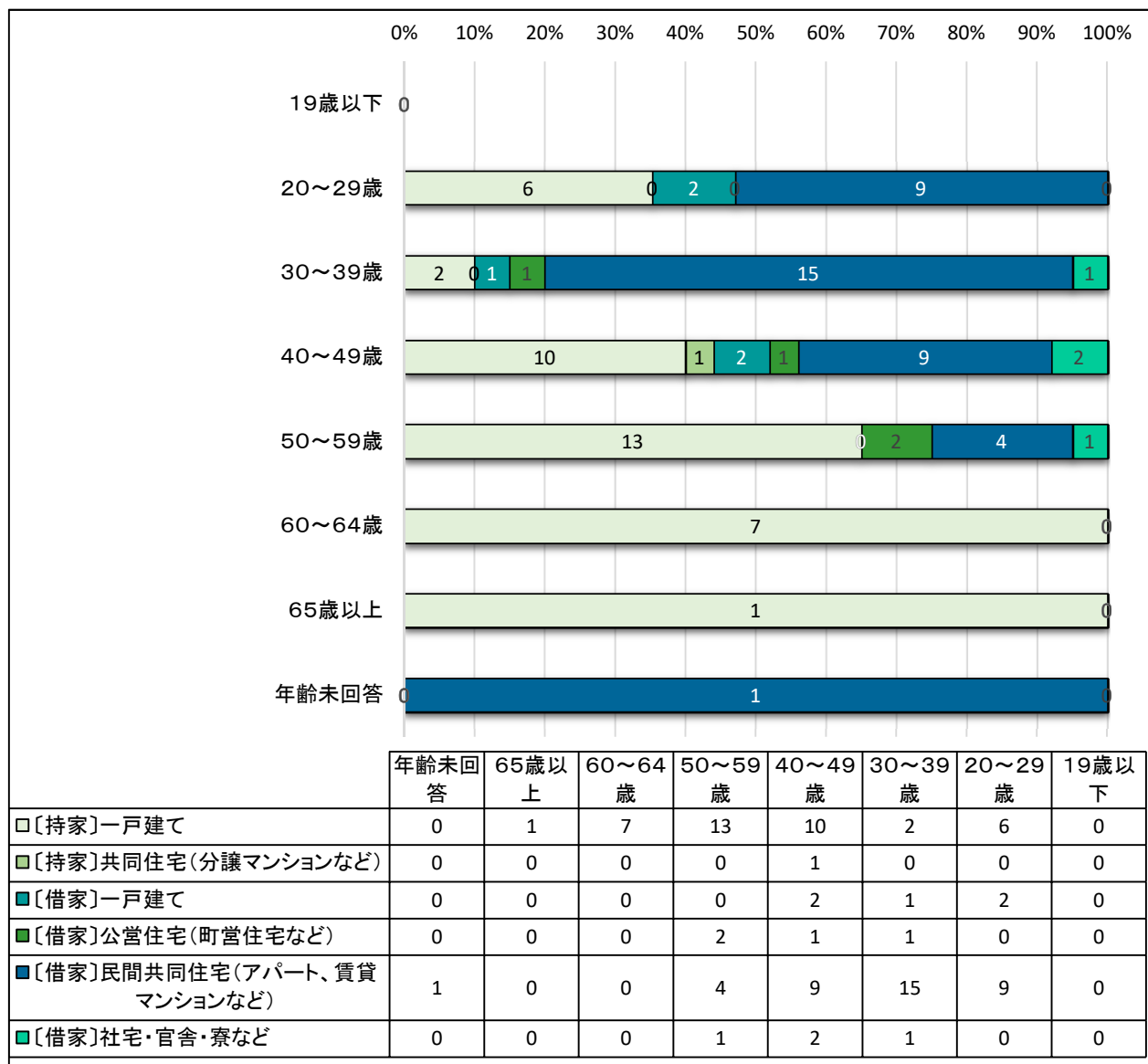
### 問1 居住地 × 問12 移住条件(居住環境)



居住地ごとの移住条件(居住環境)では、比較的回答数の多い「日高町」「苫小牧市」「その他」を見ると、「通勤・通学・買い物がしやすい」が最も多く、次いで「住宅が比較的新しい(築年数10年以下)」「今の住宅と同程度の築年数で家賃が今より安い」となっており、生活の利便性の優先度が高く、次いで居住環境・家賃が移住要件として考えられる傾向にあることが読み取れます。

## 【集計ベース】

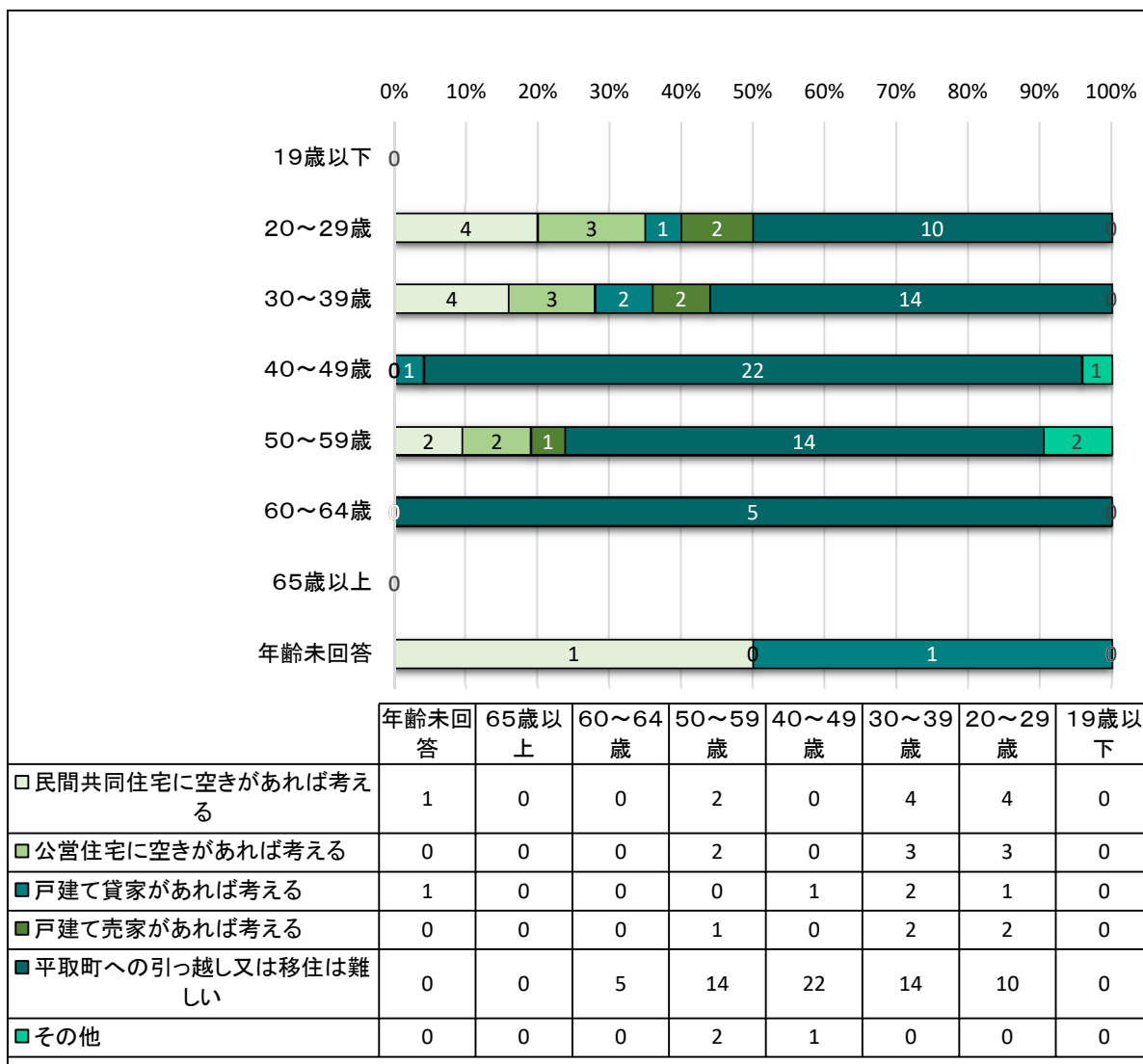
### 問4 年齢 × 問7 住宅種別



年齢ごとの住宅種別では、年齢が若いほど「借家」の回答率が高く、年齢が高くなるにつれ「持家」の回答率が高くなっていく傾向が顕著です。

## 【集計ベース】

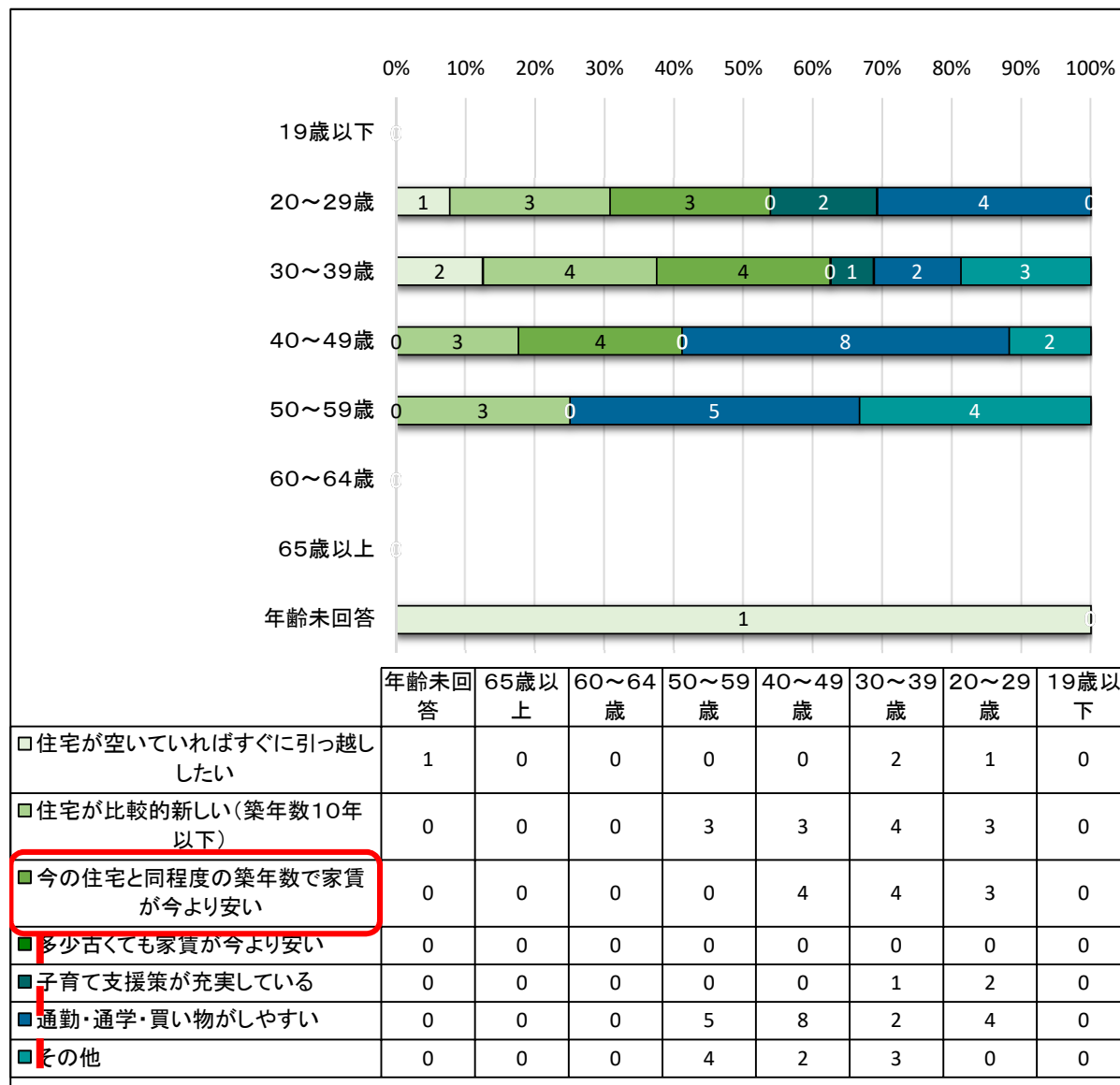
### 問4 年齢 × 問11 移住条件(住宅種別)



年齢ごとの移住条件(住宅種別)では、20代～30代で貸家または売家があれば考えるとする回答率が高くなっています。

# 【集計ベース】

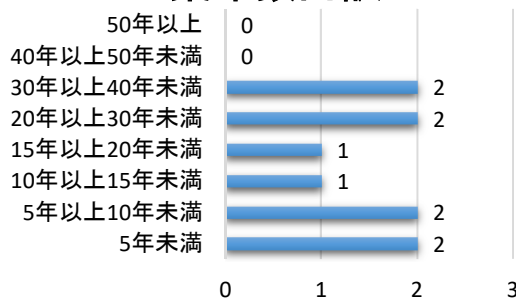
## 問4 年齢 × 問12 移住条件(居住環境)



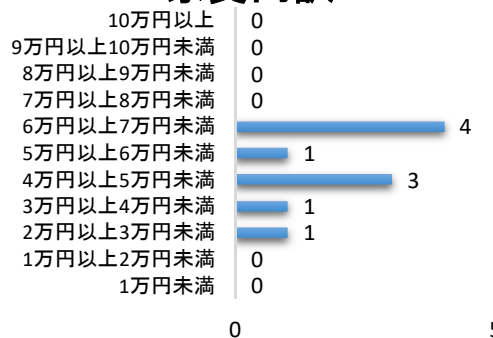
年齢ごとの移住条件(居住環境)では、20代~30代の若い世代では「住宅が比較的新しい(築年数10年以下)」と「今の住宅と同程度の築年数で家賃が今より安い」の回答が比較的多く、住居の状態・家賃を重視する傾向が伺えます。

一方、40代~50代では「通勤・通学・買い物がしやすい」の回答が多く、生活の便を重視する傾向が伺えます。

### 築年数内訳



### 家賃内訳



# まとめ

町外からの通勤者における平取町への移住の意向は低い結果となりました。

また、居住地を決める優先順位としては、

- ①生活の利便性
- ②住居状態の良さ
- ③家賃

である傾向を読み取ることができます。

さらに、今回の回答者属性のうち、職業属性が「公務員」の方が多くにも関わらず、町外から通勤しているということは、平取町の公的住宅が居住地として選択される状態にないことを示唆しているものと考えられます。

一方で、年齢別の集計結果を見ますと、若い世代では条件さえ合えば移住を考えると回答が比較的多いことから、ライフステージに合わせた住居環境を整備することで、移住を促進することができる可能性があります。

今回のアンケート結果からは、平取町の住環境が、町外の方々の需要に即していないことが明確に示されました。

この結果を、今後の移住・定住策を策定する上での基礎資料として事業を推進していきます。



# 「平取町の移住・定住」に関するアンケート調査

平取町への移住・定住を図るため、町外から平取町に通勤している方を対象に、アンケート調査を実施しますので、皆様のご協力をお願いします。ぜひ、移住・定住に関するご意見等をお聞かせください。

スマートフォンをお持ちの方は、右のQRコードを読み取りますと、アンケートに簡単にアクセスできますので、ぜひご利用ください。



本アンケートは勤務先へ提出又はQRコードを読み取りWebで回答してください。

締切：令和4年5月27日（金）

※ Webで回答いただいた方はアンケート用紙の提出は不要です。

〔アンケート実施主体〕

沙流郡平取町本町 28 番地 平取町まちづくり課地域戦略係（☎01457-2-2222）

問1 あなたの居住地を次の中から選んでください。

- ① 日高町 ② むかわ町 ③ 厚真町 ④ 安平町 ⑤ 新冠町  
⑥ 新ひだか町 ⑦ 苫小牧市 ⑧ 占冠村 ⑨ その他（ ）

問2 あなたのお住まいの地域は、次のどれに該当しますか。

- ① 市街地 ② 市街地に隣接した郊外の住宅地 ③ 農山村集落  
④ その他（ ）

問3 あなたの性別を選んでください。

- ① 男 ② 女

問4 あなたの年齢を次の中から選んでください。

- ① 19歳以下 ② 20～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳  
⑤ 50～59歳 ⑥ 60～64歳 ⑦ 65歳以上

問5 あなたの主な職業を次の中から選んでください。

- ① 会社員・会社役員 ② 公務員 ③ 団体職員・団体役員  
④ パート・アルバイト ⑤ その他（ ）

問6 あなたの世帯（同居しているご家族など）は、次のどれに該当しますか。

- ① 1人暮らし ② 夫婦 2人 ③ 夫婦と子ども ④ 母子世帯・父子世帯  
⑤ 3世代世帯（親と子と孫） ⑥ その他（ ）

問7 あなたが現在お住まいの住宅は、次のどれに該当しますか。

- 〔持家〕 ① 持家の一戸建て ② 持家の共同住宅（分譲マンションなど）  
〔借家〕 ③ 借家の一戸建て ④ 公営住宅（町営住宅など）  
⑤ 借家の民間共同住宅（アパート、賃貸マンションなど）  
⑥ 社宅・官舎・寮など

※ ①②を選択した方は問9へ、③～⑥を選択した方は問8へお進みください。

裏面もあります⇒

**問8-1** 問7で③～⑥と回答した方にお聞きします。現在お住まいの住宅の間取りを次の中から選んでください。

- ① 1LDK ② 2LDK ③ 3LDK ④ 左記以外の間取り ( )

**問8-2** 問7で③～⑥と回答した方にお聞きします。現在お住まいの家賃の月額（住宅手当等を除く実際の負担額）とおおよその築年数について教えてください。

家賃月額 \_\_\_\_\_ 円 築年数 \_\_\_\_\_ 年

**問8-3** 問7で③～⑥と回答した方にお聞きします。勤務先から住宅手当（家賃助成）の助成はありますか。

- ① 全額助成 ② 半額助成 ③ 一部助成 ④ 助成なし

**問9** 平取町への引っ越し又は移住を考えたことはありますか。

- ① ある（問11へ） ② ない（問10へ）

**問10** 問9で「ない」と答えた方は理由を次の中から選んでください（複数回答可）。

- ① 住み慣れているから ② 持家があるから ③ 今の家賃が安いから  
④ 現在住んでいる場所が買い物等に便利だから ⑤ 家族が居住地で仕事をしているから  
⑥ 子どもの学校等の関係から ⑦ 親と一緒に住んでいる又は親や兄弟等が近くに住んでいるから ⑧ 平取町に空き住宅がなかったから ⑨ 平取町の住宅（公営住宅等）が古いから ⑩ その他 ( )

**問11** 平取町に空き住宅がある場合、当町への引っ越し又は移住を決断しますか。

次の中から選んでください。※①～④は複数回答可

- ① 民間共同住宅に空きがあれば考える ② 公営住宅に空きがあれば考える  
③ 戸建て貸家があれば考える ④ 戸建て売家があれば考える  
⑤ 平取町への引っ越し又は移住は難しい。 ⑥ その他 ( )

**問12** どのような居住環境であれば、当町への引っ越し又は移住を決断しますか。

次の中から選んでください（複数回答可）。※問11で⑤と回答した方は回答不要です。

- ① 住宅が空いていればすぐに引っ越ししたい。 ② 住宅が比較的新しい（築年数10年以下）  
③ 今の住宅と同程度の築年数で家賃が今より安い ④ 多少古くても家賃が今より安い  
⑤ 子育て支援策が充実している(☆) ⑥ 通勤・通学・買い物がしやすい  
⑦ その他 ( )

**☆ 平取町が現在取り組んでいる子育て・教育支援策 ☆**

- ① 子育て支援医療費還元事業→ 15歳（中学生）までの子どもを対象に、病院等に受診し自己負担した医療費について、地元のお店で使える金券と交換できる制度。  
② すこやか赤ちゃん誕生祝金給付事業  
③ 子ども発達支援センター  
④ 公設塾「びらとり義経塾」の開講（対象：町内の中学生、平取高校生）  
⑤ 小中学校の学校給食無償化（令和3年度～）  
⑥ 奨学資金貸付制度（若者のUターン促進、専門職の人材確保等。）  
⑦ 平取高等学校に進学・在学する学生への様々な支援

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。